

特別寄稿 ～ 石飛さんの五連覇を祝して ～ 2008 8 / 2

本日は、ハードコアに参加された皆様、暑い中ご苦労様でした。

また、今回もつつがない運営を心がけられた、立さん、植田さん、それにみつくんお世話になりました。お疲れ様でした。特にみっちゃんはお父さんと一緒とはいえ、おっつあん達の中で丸一日楽しく遊ぶのには大変な工夫が要ったと思います。一日本当にいいコにしていたのはエライと思いました。

【大会戦略】

さて、今日僕は数ヶ月ぶりにハードコアに参加したんですが、ここ数ヶ月、ずっと石飛さんが優勝トロフィをさらって行かれているということを聞き及んでいましたので、「ストップザ石飛」を心に誓い、鼻息荒くこの大会に臨みました。その証拠に鼻息荒くいつもの何倍も早く会場に着き、9時半から壁打ちを一人でしていました。

ただし、そうは言っても最近僕はなかなか思うような練習が出来てなく、ストロークも余り打ってないため、4連覇中の石飛さんに真っ向勝負ではまず勝てないだろうと冷静な自己分析もしていました。

よって、僕が考えた8月大会戦略プランはというと、

8月大会は暑い。激しい試合を何試合もすると最後には体に反動が来る。

幸い石飛さんと同じリンクに入り、対面で直接対決がないため、立石さん、高木清さんという相手とお互い戦うことになる。(対戦相手は同じ)

だがら、この二人に対し、全勢力をつぎ込み最小スコアで2勝すれば、得失ゲーム数で、僕が1位、石飛さんが二位になる可能性がある。

決勝トーナメント表を見ると、僕らのリンクで2位になると、順当に行けば、準決勝で、「もう一方の雄」田中さんと対戦することになる。

ここで、田中さんと石飛さんがいつものように壮絶にやり合い、田中さんが石飛さんに勝たれば、それでよし、もし石飛さんが勝たれても、猛暑の中での激戦で相当消耗されているだろうから、対戦表上、先に準決勝の試合が終わっているはずの僕には相当なアドバンテージがある。こうなれば、ニュートラルな状態では極めて可能性が低かった僕の決勝での勝つ可能性が、ぐっと高く跳ね上がる。

という、こざかしい作戦を考えていました。僕も基本的にハードコアに関しては実力試しで、出来るだけフィフティフィフティの状況でその時点での強さの格付けを白黒はっきり着けたいと考えているタイプなのですが、またそれとは別に、ハードコアや様々な一般大会での経験を通して、「勝ちに拘る」、「目の前の自分より強い相手にどうやったら勝てるか」ということを骨身に沁みて痛感させられてきたことも事実でして、最近では、相手が自分より強い格上だからといって、負けてヘラヘラしていられる精神

レベルは既に通り越してしまっているわけですし、負けたら相手がランキング上位だろうと何だろうとメチャメチャ悔しいわけですよ。だから、勿論フェアプレーを心がけることを前提に、特に自分より強いと意識してしまう相手には、色々策を弄してみるってことがこれからの段階ではとても重要ではないかなと認識しているわけです。

で、今回は僕が石飛さんに勝つ、じゃなくて、目的は石飛さんの 5 連覇を阻止、そして、僕が優勝というのが最重要課題だったんですね。それを念頭に置くと上記したような小ざかしい作戦しか思いつかなかったわけですよ。

【大会が始まってみると】

ということで、考えていた僕の大会戦略なんですけど、蓋を開けてみると自分でも信じられないくらいにウマく事がはこんでいきまして、僕自身が前出の両者を共に 6 - 1 という最小スコアでクリアできたこと、それとこれは本当に失礼なんですけど、予想さえしてなかった予選での立さんの石飛さんからのマッチポイント！「え、これに負けたら一勝一敗で直接対決が先に来るから、石飛さん上位 T 上がれないよな」という、思いも掛けない新手の刺客の登場（度々失礼！？）に歓喜して盛り上がるベンチ。結局壮絶な置き合いの末の 5 - 6 という大善戦は、思いもかけず相当の消耗を石飛さんに与えたんだろうと僕は内心コトがうまく行き過ぎて怖いくらいでした。

そして、石飛さんは辛くも決勝 T に上がられたわけですが、高木義晴さん、田中さんというハードコアきっての猛者と激戦を繰り広げられ、僕が予想していた以上の消耗で決勝に勝ち残ってこられてるんじゃないかと思っていました。

僕はというと、決勝 T で吉岡さん、植田さんと対戦しまして、この両者については後でたっぷり触れますが、本当にテニスの内容では見劣りしながらも、ねちっこくも勝つテニスを貫いて、辛くも決勝進出しました。

【決勝戦】

ここまでは、僕のプラン通り、内心はシメシメという感じなんですけど、実際、お手合わせをしてみて結論から言えば、石飛さんは全然消耗というかフィジカルのダメージがテニスに出ていませんでした。いや、正確にいうと、最初の 2 ゲームくらいまでは、今日これまでの石飛さんのプレーではなく、昔の石飛さん「ラオウ！？」に戻られたかのような“前のめり”での、ハードヒットの連続。ノータッチも来るが、オーバーやサイドアウトも結構ある感じでした。「我が生涯に一点の悔いなし！！」みたいな。やはり疲れていて、勝負を急いでおられるのではないかと、内心、更にシメシメとなったわけですが、あろうことか 3 ゲーム目くらいから、いつものディフェンス型でありながら相手の嫌がるコース、球種を配球しつつ、チャンスがあると打ち込んだり、ネットに出られたりという体力にモノを言わせた磐石のテニスをされるようにな

ったのです。結局、ベースラインでの粘りあいという僕と石飛さんとのいつものパターンになりました。その中にあって、僕もなぜか今日に限ってすっごく調子の悪いバックサイドのスライスで、再三劣勢に陥り、ポイントを奪われしまい、また、そうこうしているうちに今日ちょっと返球がうまく出来てない、ボールがバウンドしてからこちらから見て左側に変化する（フォアで構えていると差し込まれる）難しいコースへの配球が多くなり、万事休すでした。3 - 6 です。石飛さん 5 連覇達成です。

悔しいのですが、石飛さんの猛烈な体力と正確な技術に敬意を表するしかありません。僕よりも多分 5 割り増しでゲームを消化し、その内容自体も僕よりも消耗の激しいものだったはずなのですが、そのようなダメージは一切テニスに顕れていなかったと思います。試合が終わった後もケロツとされてましたよ。

【石飛さんの 6 連覇を阻止するためには】

長々とすいませんが、僕が毎月ハードコアに出場できるとは限らないため、ここでは僕なりに石飛さん攻略のポイントを記していきたいと思います。前提は、田中さん以外の石飛さんほどのストローク力を持ち合わせないハードコア戦士達向けです。勿論、こんなことは石飛さんご本人がよくよくご承知だと思いますので、その内、激烈練習の未克服されることと思います。賞味期限付きでお願いします。

ネットでプレーしてもらいましょう！！

今日の立さん戦、又は高木義晴さん戦、僕との対戦でも見受けられましたが、石飛さんはベースラインにおられるより、ネットの近くにおられた方が、相対的に見てパワーダウンされます。決して下手ではなく、ボレーもスマッシュもお上手なんです。ベースラインにいる時のまるで頑堅な要塞のごときディフェンス力、展開力と比べれば、イージーなミスもされるし、こちらへのチャンスボールもくれます。特に後ろへ下がりつつのスマッシュはネットに掛けられることが多いですね。

ベースラインでのストロークの置き合いに終始（体力気力集中力必要）

とにかくスライスでもストロークでもいいので、ベースラインから離れず返す。コースに拘らなくてもいい。置きに行く感じで。こちらから展開しない。短い甘いボールを出すことも厳禁。

石飛さんでも集中力を切らす時が必ず来る。そのときはサイドかオーバーにアウトされます。また、石飛さんが強引にネットに詰めてこられたらすかさずロブ。スマッシュされたらミスされる可能性がいつもの倍以上、またまあまあ深くて一回置かれたらこちらがネットを取る。

今日の立さん戦でも見受けられましたが、昔に比べて今の石飛さんはこちらのストロークというかペースに「お付き合い」してくれることが増えました

ので、この戦法はかなり現実的だと思います。

というわけで、何が「祝 5 連覇」だ！といわんばかりの打倒石飛的な内容になってしまいましたが、1 年が 12 ヶ月しかない中でこの傍若無人な活躍ぶりにはやはり「打倒！固有名詞」的な形でのある意味“フューチャー”した打倒キャンペーンがハードコア的には最大限の賞賛ということになると思います。

いや～僕も、打倒タカクラとか言われてみたいですわ。まさにハードコア戦士の栄誉ですな。

石飛さん、これからもハードコアに出場し続け、連覇記録の更なる塗り替えを狙ってってください。それと、これからますます石飛さんとゲームさせてもらえることは、ハードコア戦士たちの大会参加への大きなモチベーションとなると思います。子育てに勤しみつつ、月一の日程調整をこれからもお願いしますよ！！

p . s . 打倒石飛で頭が一杯で今日お祝い忘れてしまいました。今度持って行きますから。

【今日のトピックス】

さて、続きまして、せっかくですから、今日僕がハードコアに参戦してみて、目に留まったもの、耳にしたことをどんどん記していきたいと思います。

建部さんは、朝発注のため自店に行った際、ラケットを置き忘れてしまい、何か一個前くらいのラケットを今日は使っておられました。

みっちゃんの今、一番“キテる”面白お笑い芸人は弟のユウキくんらしく、二番目は犬のフクちゃん 2 号だとか。

立さんはちょっとナダルっぽい袖なしのパボラーウェアで登場、石飛さんをキリキリマイにしていました。確かにそれを着るとレーザーレーサーのように 3 割り増しでウマイ人に見えました。ころなしかですが。ちなみに福袋に入っていたそうです。

田中さんもちょっとそこらじゃ見かけないスポーティな柄のウェアを着ておられました。これについての見栄えは立さん以上で、5 割り増しくらいですね。

ちなみに田中さんの麦わら帽子にみっちゃんは興味津々のようでした。

田中さんと石飛さんの準決勝 2 - 2 の 4 0 オールという勝負の行方を大きく左右する場面で、大人たちが醸し出す緊迫感に何がしかインスパイアされたのか、みっちゃん

んがチェアアンパイア席へ登るというハプニングが起こり、一部観戦者は、二人のプレーに何らかの影響が出ないかヒヤヒヤしました。大事なポイント終了後、みっちゃんはお父さんに保護されていました。

高木清さんは前夜の職場の飲み会が、ホテル白鳥のビアガーデンであった模様。

ハードコアのためにビール1杯半で何とかやり過ごされたとか。あっぱれな心意気です。その努力が報われたのか今日は5試合を戦い抜き、500円図書カードをゲットされました。素晴らしい！！

今日は4時まで3面コートを借りていて、上位Tの決勝も下位Tの決勝も4時で終わらず、慌てて借りることが出来たDコートで、上位T決勝、下位T決勝と順に行いました。主催者の立さんは動揺されたと思います。う～ん、立さん気持ちはよくわかりますよ。少しケチりすぎましたねえ。

どうでもいいことですが、今日一番早く帰られたのは藤江さん、その次が小林さんでした。

【私の対戦相手】

最後のコーナーです。

今日、僕が対戦したお相手の方について、少しでもコメントさせてもらいたいと思います。

- ・ 立石さん

なんかミスされるとすいませんと申し訳なさそうに僕に謝っておられましたが、前記したように僕の戦略上は願ってもないことでしたので、本当「お気遣い下さるな」って感じでしたよ。でも、一撃必殺の溜めて打つストロークでは何本もエースを取られました。

- ・ 高木清さん

石飛さんと試合されてる時、素晴らしいサーブとベースラインからの強力なストロークを披露されていたので、「こりゃ、やばい」と思ったものです。僕とのゲームの時は、なぜか不発でしたが、この夏真っ盛りの8月大会で5試合を見事に乗り切れ、6kg減量効果は大いにあったということですね。

- ・ 吉岡さん

薄い握りのフォアストロークが、かなり打点の低いところからネットの数cm上を通ってコースに入ってきます。またそんなにバックスイングが大きいいため、何でこんなスピードで来るのか、途中まで反応できず、押されっぱなしでした。もっと練習で磨かれ、アンフォースドエラーが減れば、ハードコア取れると思います。

後、ストロークで押されて、こちらは防戦一方で、やっと返したチャンスボールをネットプレーでボカされたのに命拾いしました。そのところが修正されればホント優勝できると思います。

- ・ 植田さん

今日はボールの当たり・音が違うというか芯を食った音をサーブとストロークでされていました。ベースラインからおもいきりエースを取られまくるという最近余り経験しないことも今日は沢山されてしまいました。伊達にAリンク1位で通過されてないですね。思いっきりスイングされているので角度によっては仕方ないのですが、大きくオーバーすることも散見しましたので、そこのところを修正されれば、十八番のネット際に落とす“あれ”の効果も倍増しますし、物凄い進化を今日は感じました。いや～フレキシポイントがマッチしてきましたねえ